

2016.11

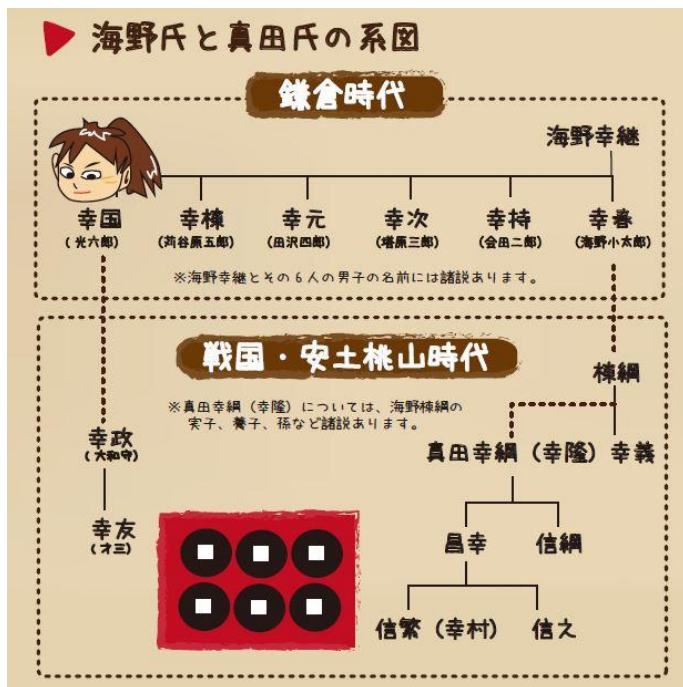
光城山1000人SAKURAプロジェクト

「光城山1000人SAKURAプロジェクト」では、市民の皆さんが、より光城山への関心をもっといただく機会として、山城としての光城山の歴史を学ぶ講座（「戦国の山城 光城山の見方・歩き方」）を開催しました。史料が少なく謎の多い光城山。しかし、それだけに、歴史ファンならずとも、想像をかきたてる魅力が満載の山城です。

## 「山城」ってどんなお城？

「お城」というと、どんなものをイメージしますか？天守閣や石垣や水をめぐらしたお堀があって・・・いわゆる近世のお城をイメージされるのではないのでしょうか。しかし、光城山のような「山城」は、天守閣も石垣もありません。お堀は水の無い空堀です。普段、私たちがイメージしやすいお城は、城主や家臣たちが定住し、政治の中心ですが、山城は人が暮らすような建物はありません。城主らは麓の館に居住していました。諸説ありますが、戦時に逃げ込む場所だった、監視を目的に築かれた、などと言われています。

### ▶ 海野氏と真田氏の系図



## 光城山を治めていたのは、あの真田家の本家？！

江戸時代に作成された地歴書である「信府統記(しんぷとうき)」には、光城の城主は、海野幸継の六男である幸国(光の六郎)、また、その幾代か後には、海野大和という人物が治めていたと思われる記述が残されています。この「海野」氏、諸説ありますが、かの有名な真田家の本家であると言われています。

## 築城は群雄割拠の戦国時代？！

光城の築城時期は不明です。残された史料からは断片的なことしかわかりませんが、光城の南に位置する田沢城は、室町時代中期頃に築城されたと考えられており、光城はその後に築城されたと考えられています。ちょうど、武田氏や織田氏などが登場する、戦乱の激化する戦国時代頃の築城ではないかと言われています。

市制施行10周年を記念して、昨年度、多くの市民の皆さんと植栽した300本の桜は、ほとんどの桜が順調に根付きました。植栽した桜は、地元の皆さんを中心に、生育管理等行っています。特に夏場の水不足が心配されましたが、無事に乗り切ったようです。これからも皆さんで温かく成長を見守ってください。

平成27年度に市民の皆さんと植栽した300本の桜、おおむね順調に育っています。



プロジェクトでは、11月26日に60本の桜の植栽を行います。これに伴い、事前に植栽穴の掘削作業、資材運搬作業を11月中旬頃より随時実施します。登山者の皆様には大変ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をよろしく願いたします。



おしらせ



発行日：平成28年11月7日

発行：【光城山1000人SAKURAプロジェクト】

(事務局)安曇野市役所 市民生活部 地域づくり課 まちづくり推進係 電話.71-2494(直) FAX.72-3176

※この事業は、「長野県地域発元気づくり支援金」を活用しています。